

国際博物館の日記念事業

『栗東市の左義長からみる地域社会』 刊行記念シンポジウム

域学連携プロジェクトで伝統を未来へ

基調講演

笠井賢紀

『栗東市の左義長からみる地域社会』 著者

パネルディスカッション

◆進行 竹山和弘

栗東市職員
龍谷大学非常勤講師

◆パネリスト



土居浩

ものづくり大学 日常意匠研究室
日本生活学会理事 (事業委員長)



笠井賢紀

慶應義塾大学法学部講師



中川敦之

栗東歴史民俗博物館 学芸員

今年3月に『栗東市の左義長からみる地域社会』がサンライズ出版(彦根市)より刊行されました。同書は、栗東市と龍谷大学笠井研究室(当時)による協働の成果です。刊行を記念し、地域と大学が共に調査を行うことの意義や、伝統(民俗)が未来へとどう活かせるかを議論するシンポジウムを開催します。
※当日会場にて、同書販売も若干数用意しております。

令和元年(二〇一九年) 5月18日(土) 14時~16時 (13時30分受付開始)

栗東歴史民俗博物館 研修室にて 無料 / 予約不要 (先着100名)

お問い合わせ.. 栗東歴史民俗博物館 (077・554・2733 || 中川)

共催

栗東市、栗東市教育委員会、龍谷大学龍谷エクステンションセンター



本シンポジウムの基となる調査は両者の包括連携協定(2017年)に基づき協働で実施されました。

後援

国際博物館会議京都大会



本シンポジウムの基となる調査について、本年9月開催の国際会議にて報告がなされます。

滋賀県博物館協議会



日本生活学会



本シンポジウムの基となる調査は日本生活学会生活学プロジェクト(2016,2017年度)として実施されました。